

2008年11月15日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

客室ドアの誤開扉事故について

昨日、弊社大井町線において下記の事故が発生いたしました。ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

記

- 事故内容 列車が動き始めた直後、乗務員のドア操作ミスにより客室ドアが開閉し、その間に約60cm列車が動きました。
- 発生日時 2008年11月14日(金)20時24分頃
- 発生場所 大井町線二子玉川駅上りホーム
所在地：世田谷区玉川2-22-13
- 発生列車 大井町線 二子玉川発大井町行 急行列車(6両編成)
- 状況 (1)二子玉川駅でお客さまの乗車が終了した後、車掌は客室ドアの閉扉操作を行い、ホーム側ドアが閉まったことを確認し、列車を出発させるため、運転士に出発合図を送りました。しかしその直後、ホーム上にいらっしゃったお客さまが列車に近寄ってきたため、車掌は開扉操作を行いました。
- (2)運転士は、車掌からの出発合図を受けて、既に列車を発車させる操作を行っていましたが、客室ドアの開扉を知らせるチャイム音に気づき、直ちにブレーキをかけて列車を停止させました。
- (3)車掌はドア操作ミスに気づき、直ちに閉扉操作を行い、客室ドアを閉めました。ホーム側の全てのドアが開閉する間に約60cm列車が動き、停車しました。
- (4)運転士と車掌は、改めてホーム上の安全確認を行い、異常がなかったことから、列車を出発させました。なお、けがをされたお客さまはいらっしゃいません。
- 原因 車掌が運転士に対して出発合図を送った後にドアを開ける場合は、先に非常ブレーキをかけて列車を停止させ、動かないようにした上で開扉操作を行うことになっていますが、ホーム上のお客さまが列車に近寄ってきたため慌ててしまい、とっさに非常ブレーキをかけずに開扉操作を行ってしまったことが原因です。
- 対策 従業員に対し正則作業を徹底させるとともに、再教育を実施いたします。

以上